

# 教育実習前に模擬面接

島根大 社会人マナーをチェック

社会人としてのマナーを身につけているか、教育実習を控えた学生を市民がチェックする「面接道場」が、県民会館で開かれ、学生ら170人が真剣な表情で面接に臨むなどした。

島根大教育学部が同学部3年生を対象に、2006年から毎年実施。県内の中学・高校の校長や地元企業の関係者ら同学部の外部評価委員が面接官を務めた。

緊張した面持ちでグループディスカッションをする学生ら  
(松江市殿町の県民会館で)



学生らは、3〜6人のグループに分かれて面接を受けた。約30分の自己紹介の後、面接担当者から出された課題をもとに、車座になってグループディスカッションを体験。学生らは「もっと積極的に発言して」と注意を受けると、緊張した面持ちで自分の考えを話していた。

「満足にいかなかった部分もあったけど、自分に何が足りないのか考える機会になりました」と話していた。

参加した掛谷奈美さん(20)は小学校教諭を目指しているといい、

同学部によると、2010年度の同学部卒業生は165人。うち教員就職者数は計106人(前年度比19人増)で、32人が県内で教員に就職しているという。

(寺田航)